

1 スケジュール

月	
R7.4	第1回（令和7年4月23日） ① 今後のスケジュールについて ②メバル公園活力倍増プロジェクトについて ③ 施設概要・現地確認（青果／潮彩市場） ④意見聴取
R7.5	第2回 ・新たな青果市場の方向性について
R7.6	
R7.7	
R7.8	第3回 ・基本構想（案）について
R7.9	第4回 ・基本構想（案）について
R7.10	
R7.11	

↓ 基本構想（案）の検討

↓ 基本構想（案）の検討

2 メバル公園活力増進プロジェクトについて

資料 2 ①

メバル公園の魅力を高め、交流人口が増加するよう、県と一体となった整備を進めます。
また、青果市場移転に向けた基本構想を策定し、潮彩市場防府と一体となった一次産業の拠点を目指します。



市の方向性 「潮彩市場防府エリア」を一次産業の拠点と位置付け、魚市場跡地を青果市場として整備

■懇話会(令和6年6月25日、7月24日開催)のまとめ

☞ 潮彩市場一帯を活性化する視点からの魚市場跡地の活用

1) 賑わいの創出

○魚・野菜等一次産品の拠点としての展開 農産物と水産物を一体的に取り扱い、一次産品の需要拡大や収益力向上などの相乗効果を生む
 (提案内容)

- ・ 青果市場の開設により、市場で仕入れた青果を一般消費者向けに販売
- ・ 直売所の設置による青果物等の販売（農業大学の農産物等も）
- ・ その場で食べることができる環境づくり
- ・ 朝市などのイベント開催（屋根のあるイベント会場）

○海業の展開 海や漁村の地域資源の価値や魅力を活かした事業で、地域のにぎわいや所得と雇用を創出する

2) その他の意見

- | | | | |
|------------|-----------------|--------------------|----------|
| (防災機能の付加) | ・ 災害時の避難所としての活用 | | |
| (検討が必要な項目) | ・ トイレの増設 | ・ 加工場などバックヤード施設の拡張 | ・ 駐車場の拡張 |

課題等
検討

■懇話会(令和6年11月27日開催)のまとめ

☞ 魚市場跡地を青果市場とした場合の課題等

- ・ 客層の変化、交流人口の増加に対応できる駐車場の確保、トイレや授乳室の整備など受入体制の準備
- ・ 物流車両の増加による業務車両と訪問客（一般車両）の動線確保
- ・ バックヤードの確保（保冷施設、倉庫など）
- ・ 社会見学など子ども向け啓発スペースの確保（一次産品の普及啓発、会議室、災害時の避難所など多目的な利用）
- （その他）資本投下の一本化による利便性の向上（野菜や魚など多種が買える）、適切な経営規模による市場整備、魚市場と青果市場の衛生管理の違い

青果市場の現状

1 取扱数量の減少

- ・取引数量
14,332t(H1年度)
3,669t(R5年度)
- ・買受人数
233人 → 40人
- ・関連事業者数
14社 → 2社

2 施設維持費の増加

3 取引形態の変化 (相対取引が主流)

施設概要

開設 平成元年 4 月
(建物面積 6,862㎡)

卸売市場	3,287㎡	仲卸売場	485㎡
買荷保管積込所	377㎡	保冷库	431㎡
バナナ加工室	292㎡	倉庫等	530㎡
事務所	1,460㎡		

**取扱数量の減少に伴い、
実使用部分も減少中**

防府市公設青果物地方卸売市場



防府水産地方卸売市場（魚市場【旧セリ場】跡地）



施設概要

- 開設 昭和 5 9 年 3 月
閉鎖 平成 2 2 年 1 0 月
(建物面積 1,413㎡)
- ①卸売市場 900㎡
 - ②事務所等 394㎡
 - ③店舗営業 119㎡

